



ルイ＝ソロ・マルティネル講演会

ラフカディオ・ハーン、マルティニク、日本  
— 距離は遠くとも詩的には近い幻想物語 —

Lafcadio Hearn, Martinique, Japon  
— Une littérature fantastique loin géographiquement,  
proche poétiquement —

平成27年8月6日(木) 15時～17時  
富山大学人文学部2階・第4講義室

ルイ＝ソロ・マルティネル氏は、ハーンが1887年から1889年にかけて訪れたマルティニク出身。専門は比較文学、英文学、演劇、女性学、外国語としてのフランス語教育。早稲田大学講師。ハーンによるクレオールのお話の聞き書きとその仏訳、注釈や未発表原稿を収めた『クレールの物語Ⅱ』を2011年に出版 (Contes Créoles II, Paris, Ibis Rouge, 2011)。2014年にハーン没後110年を記念してギリシア・レフカダ島で行われたオープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーンのシンポジウムでは、「ハーンのお話における異国憧憬と文化横断性」について講演を行う。

\* 講演はフランス語で行われますが、通訳がつきます。

問い合わせ先: 富山大学人文学部中島研究室  
toshie@hmt.u-toyama.ac.jp